

貯砂ダム築造により、貯水池への土砂流入を低減する

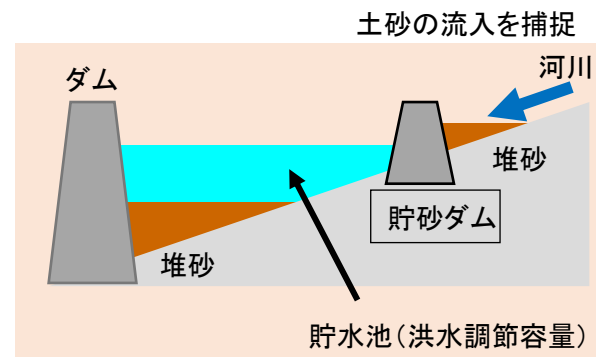
【対策】80-2 ダム管理施設の堆砂対策

対策概要:「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、ダムの洪水調節容量内に堆積した土砂等の撤去等を実施する。

府省庁名:国土交通省

【事例】^{ありま}有間ダム 防災・安全交付金事業

- 実施主体:埼玉県
- 実施場所:埼玉県飯能市
- 事業概要:有間ダムでは貯水池へ流入する土砂を貯めるための堆砂容量を確保しているが、計画時の年推定堆砂量を超える土砂が流入する状況となっており、土砂の流入量が想定を超過した際にはダムの洪水調節機能を維持できなくなる恐れがあったため、堆砂を抑制するための貯砂ダムを整備。
- 事業費:約2.6億円(ダム全体での事業費。施設整備費は事業費の内数)(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約2.6億円)
- 効果:ダム本体の貯水池上流域に貯砂ダムを整備したことにより、堆砂の進行を抑制することが可能となり、ダムの洪水調節機能を維持することで、ダム下流河川の氾濫被害を減少することができる。



貯砂ダムによる効果イメージ図

対策前



対策後

